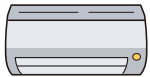
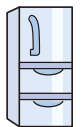


# 節電メニューに取り組みましょう

では、何をすれば節電対策になるのか見てみましょう。最も節電効果が高いのはエアコンの設定温度の調整で、冷蔵庫や照明なども少し工夫すれば、10%の節電は意外と簡単にできます。

## 「節電メニュー」を参考に、節電にチャレンジしてみましょう

| 節電メニュー<br>【次のような節電の取り組みがおすすめです】                                                                     |                                                                             | 節電効果 |                          |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|------|--------------------------|
|                                                                                                     |                                                                             | 削減率  | チェック                     |
| <div>エアコン</div>    | ●室温28℃を心がける<br>※設定温度を2℃上げた場合                                                | 10%  | <input type="checkbox"/> |
|                                                                                                     | ●「すだれ」や「よしず」などで窓からの日差しを和らげる<br>※エアコンの節電になります                                | 10%  | <input type="checkbox"/> |
|                                                                                                     | ●無理のない範囲でエアコンを消し、扇風機を使用する<br>※除湿運転やエアコンの頻繁なオン・オフは、電力の増加になる場合がありますので、ご注意ください | 50%  | <input type="checkbox"/> |
|                                                                                                     | [その他]・フィルターを定期的(2週間に1回程度)に掃除する<br>・2部屋でそれぞれ使用しているものを、1部屋(1台)に減らして使用する       | —    | <input type="checkbox"/> |
| <div>冷蔵庫</div>     | ●冷蔵庫の設定を「強」から「中」に変え、扉を開ける時間をできるだけ減らし、食品を詰め込まない ※食品の痛みにご注意ください               | 2%   | <input type="checkbox"/> |
|                                                                                                     | [その他]・壁との間に適切な間隔を空けて設置する                                                    | —    | <input type="checkbox"/> |
| <div>照明</div>     | ●日中は不要な照明を消す                                                                | 5%   | <input type="checkbox"/> |
| <div>テレビ</div>   | ●省エネモードに設定するとともに、画面の輝度を下げ、必要な時以外は消す                                         | 2%   | <input type="checkbox"/> |
| <div>炊飯器</div>   | ●早朝にタイマー機能で1日分まとめて炊いて、冷蔵庫や冷凍庫に保存する                                          | 2%   | <input type="checkbox"/> |
| <div>待機電力</div>  | ●リモコンの電源ではなく、本体の主電源をきる<br>●長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜く                          | 2%   | <input type="checkbox"/> |
| <div>その他</div>                                                                                      | ●お湯は電気ポットではなくコンロで<br>●洗濯はまとめて洗い(容量の8割程度)<br>●パソコンはバッテリー駆動、省エネモードで           | —    | <input type="checkbox"/> |

節電効果(削減率)の合計が10%以上となればOK! 【合計】    %

※上記の効果は、在宅家庭の昼間のピーク時の消費電力(14時:約1,200w)に対する削減率の目安です。[資源エネルギー庁推計]

他に家庭には消費電力が大きい電化製品がたくさんあります。【消費電力が大きい電化製品】

平日の日中を避けて使用したり、使用する時間が重ならないように工夫していただくよう、ご協力をお願いします。

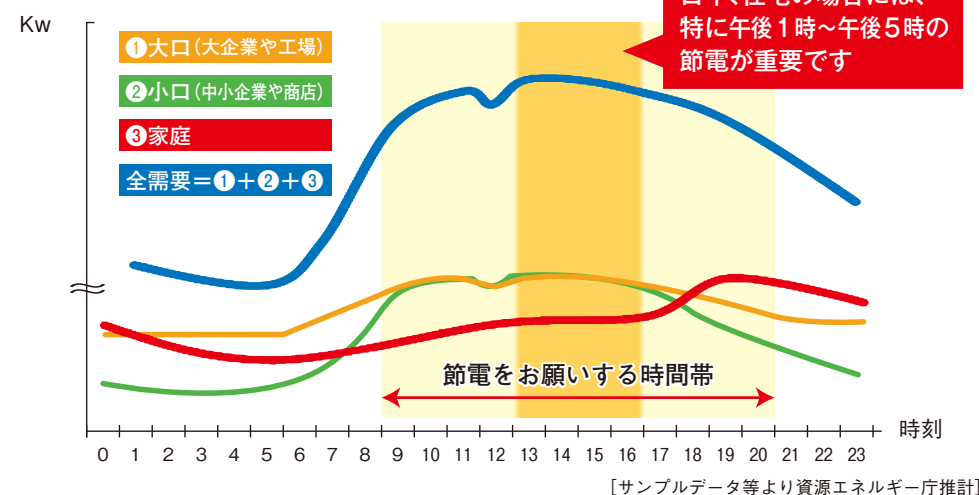
- アイロン
- 電気ポット
- 電子レンジ
- ホットプレート
- ドライヤー
- 洗濯乾燥機
- トースター
- 食器洗い機
- IHクッキングヒーター
- 浴室乾燥機
- 掃除機

## ご注意ください!!

エアコンの控え過ぎによる体調不良に気をつけて、無理のない範囲で節電をお願いします。屋内でも熱中症などにかかることがありますので、普段から、室温管理や水分補給に留意いただき、熱中症などには十分にご注意ください。特に、高齢者、乳幼児、体調・体力に不安のある人は、十分に気をつけてください。節電を意識するあまり、衛生面、安全面および防犯面で不適切なものとならないようご注意ください。



夏期の電力需要



夏は、「午後から夕方まで」が電力使用量のピークです

夏は気温の上昇により、家庭や職場などでエアコンが多く使われる午後から夕方までが電力使用量のピークとなります。

職場の電力使用量は夕方以降に減少していきませんが、家庭では夕食の準備などで午後7～8時ぐらいにピークを迎えます。

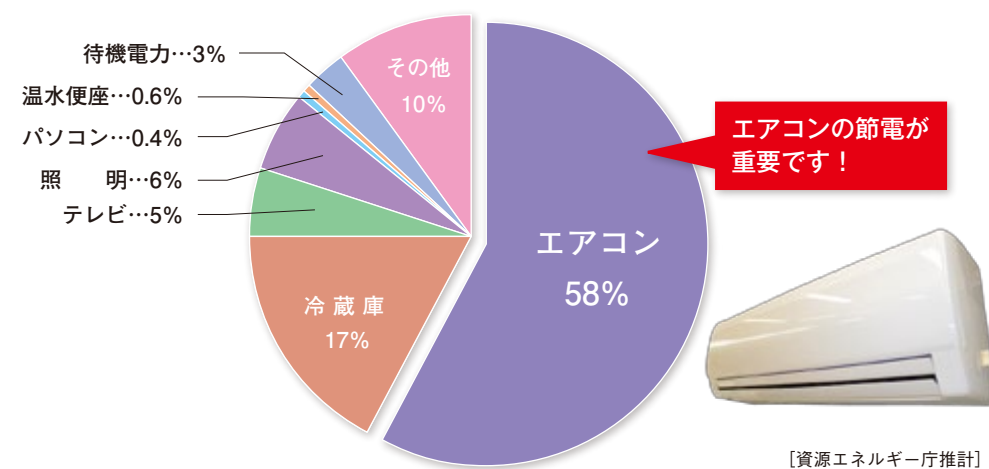
\*上記グラフ参照

家庭での昼間の電気使用量の内訳

夏の昼間の電気使用量を電気機器別に見てみると、エアコンが約58%と最も大きく、冷蔵庫が17%、照明、テレビの順に電気を多く使用しています。

\*下記グラフ参照

家庭における夏の昼間(午後2時頃)の電気機器の使われ方(在宅世帯の例)



九州電力からの節電要請の概要

特に猛暑だった一昨年(2010年)に比べて、10%以上の節電が必要とされています。

昨年並みの節電対策とともに、特に電力使用がピークとなる平日の日中(午後1時から午後5時まで)では、さらに重点的な節電強化が必要です。

●7月2日(月)～9月7日(金)の平日(お盆期間8月13日～8月15日を除く)の午前9時～午後8時

●このうち、ピーク時間帯の午後1時～午後5時は、重点的な節電の実施

## 特集

# 節電の夏

原子力発電所の長期停止などにより、今年の夏は全国的な電力不足が心配されています。

電気は、暑い夏に必要な熱中症対策や食中毒の予防、水道水の供給やごみの焼却などのライフラインにたくさん使われます。

家庭や職場などで、積極的に節電に取り組んでいただきますようお願いいたします

